

(表紙)

平成 27 年度

「校長経営戦略予算配付申請書」

大阪市立夕陽丘中学校
校長 福山 英利

1 学校運営における現状と課題 ※運営に関する計画の1学校運営の中期目標欄に記載の現状と課題を再掲

現状

- ・「感動と心」をキーワードとし、教育目標を『生きる力』を育み、感動ある教育活動を推進し、思いやりあふれる学校をめざす。」と設定して、教育活動を展開している。
- ・生徒は学習に対する意欲をもち「何事にも心を込めて行動する」を努力目標として、教育活動の取り組みを進めている。学習面では、全国の学力・学習状況調査をみる限りにおいては、全国平均と同程度の学力が備わっており、意欲的に学習活動を進めている。また、基本的な生活習慣が、身につけている生徒がほとんどであるが、一部、生活指導上の課題のある生徒も現存する。
- ・学校協議会においては、教員が、熱心に学習指導に取り組んでいる点と多様な課題に教職員が協働して取り組んでいる点が、評価されている。

課題

- ・学力の二極化が、課題としてあげられる。習熟度授業や少人数授業を活用することや、生徒間で話し合う活動を行うなどの工夫を行い、より良い授業実践を展開し、自ら学習できる態度を育成する。
- ・学校元気アップ事業をより積極的に活用して地域との連携をさらに深めていく。
- ・体調面や時間管理等について自ら考え、行動できるそして、自己管理のできる生徒の育成に努める。
- ・学習面や生活指導面において、9年間のスパンで子どもを育てるという観点で、小中連携を推進していく。

2 学校運営の中期目標 ※運営に関する計画の1学校運営の中期目標欄に記載の中期目標を再掲

【視点 学力の向上】

- 平成 28 年度の全国学力・学習状況調査における「普通の授業では、生徒の間に話し合う活動をよく行っていると思いますか。」の項目について「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を 40%以上にする。 (カリキュラム改革関連)
- 平成 27 年度までに全教科において小学校との教科間連携を実施する。 (マネジメント改革関連)
- 平成 27 年度には、テスト前学習に参加する生徒の割合を 15%にする。 (カリキュラム改革関連)

【視点 道徳心・社会性の育成】

- 毎年度末の校内調査において遅刻生徒の数を、毎年、前年度より減少させる。 (カリキュラム改革関連)
- 平成 28 年度の全国学力・学習状況調査における「人の気持ちがわかる人間になりたいと思いますか」の項目について「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を 95%以上にする。 (カリキュラム改革関連)
- 平成 28 年度の全国学力・学習状況調査における「今住んでいる地域の行事に参加していますか」の項目について「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を 35%以上にする。 (ガバナンス改革関連)

【視点 健康・体力の保持増進】

- 平成 27 年度末の校内アンケートにおける「清掃活動を積極的に取り組んでいる。」の項目について、「よくあてはまる（ややあてはまる）」と答える生徒の割合を 85%以上にする。 (カリキュラム改革関連)
- 平成 27 年度末の校内アンケートにおける「体調面での自己管理ができています」の項目について、「よくあてはまる（ややあてはまる）」と答える生徒の割合を 80%以上にする。 (カリキュラム改革関連)
- 検診で分かった症状の受診率 100%をめざす。 (カリキュラム改革関連)

3 中期目標の達成に向けた年度目標 ※運営に関する計画再掲

【視点 学力の向上】

- ①言語活動の取組みを学校全体で取り入れ、平成 28 年度の全国学力・学習状況調査における「普通の授業では、生徒の間で話し合う活動をよく行っていると思いますか。」の項目について「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を 40%以上にする。 (カリキュラム改革関連)
- ②平成 27 年度末には、校区小学校と校種や教科を越えた連携を図り、指導法について研修し、相互の授業参観を実施する。 (マネジメント改革関連)
- ③平成 27 年度のテスト前学習に参加する生徒の割合を 15%にする。 (カリキュラム改革関連)

【視点 道徳心・社会性の育成】

- ①平成 27 年度末の校内調査において遅刻生徒の数を前年度より減少させる。 (カリキュラム改革関連)
- ②平成 28 年度の全国学力・学習状況調査における「人の気持ちがわかる人間になりたいと思いますか」の項目について「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を 95%以上にする。 (カリキュラム改革関連)
- ③平成 28 年度の全国学力・学習状況調査における「今住んでいる地域の行事に参加していますか」の項目について「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を 35%以上にする。(ガバナンス改革関連)

【視点 健康・体力の保持増進】

- ①平成 27 年度末の校内アンケートにおける「清掃活動を積極的に取り組んでいる。」の項目について、「よくあてはまる（ややあてはまる）」と答える生徒の割合を 85%以上にする。 (カリキュラム改革関連)
- ②平成 27 年度末の校内アンケートにおける「体調面での自己管理ができています」の項目について、「よくあてはまる（ややあてはまる）」と答える生徒の割合を 80%以上にする。 (カリキュラム改革関連)
- ③検診で分かった症状の受診率 100%をめざす。 (カリキュラム改革関連)

4 26 年度の自己評価結果の総括 ※26 年度の運営に関する計画再掲

- ・生徒の学力の向上は、教員の授業力向上と考え、今年度も、授業改善に取り組んだ。校内授業研究と研究協議は、全教員が参加し充実しており、若手教員の育成にもなっている。学び続ける教員サポート事業で、全教員が指導案のある授業研究を実施した。管理職が中心となって参観したが、多くの教員が参加できる態勢の充実を図りたい。
- ・集団育成の具体的方策として、ピア・サポート活動の取組みを推進している。教員対象の研修を企画し、指導できる教員が現在いるが、引き継げる教員の育成が必要となる。基本的な生活習慣の育成を全教職員で取り組んでおり、その結果として落ち着いた学校になっている。
- ・清掃指導を通し、子どもの心を育てるために、今年度はクリーンアップ大作戦を土曜授業として、地域や保護者の力を借り取り組んだ。保護者の参加が少なかったため、啓発していく必要がある。また、クリーンアップ大作戦で学習したことが、努力目標である「自らすすんで掃除をする生徒」の育成に繋げるよう指導の工夫をしていく必要がある。
- ・学校元気アップ地域本部と連携して、重点目標である「生徒の道徳心、社会性をはぐくむ取り組みを進める」を、ボランティア活動（地域行事への参加、生徒会清掃）や夕陽丘カルチャー教室（日本文化体験学習）、クリーンアップ大作戦を実施した。地域の人材を活用し、生徒に社会への関心を持たせるよう取り組んだ。次年度も教職員組織と地域本部との連携を強め、教育活動を充実させたい。

5 27 年度の自己評価結果の総括 ※運営に関する計画再掲(年度末に記述)

- ・生徒の学力の向上は、教員の授業力の向上と考え、今年度も授業改善に取り組んだ。校内授業研究と研究協議は、全教員が参加し充実しており、若手教員の育成にもなっている。学び続ける教員サポート事業で、全教員が指導案のある授業研究を実施した。全教員が参加できる態勢の充実を図りたい。
- ・集団育成の具体的方策として、ピア・サポート活動の取組みを実施している。教員対象の研修も実施した。今後も引き続き、計画的に研修を行い、生徒の育成に繋げていく。学年集会や全校集会を充実させ、基本的な生活習慣の育成を、全教職員で取り組んだ。その結果、落ち着いた雰囲気のある学校になっている。
- ・清掃指導を通し、子どもの心を育てるために、今年度も、クリーンアップ大作戦を土曜授業として、地域や保護者の力を借り取り組んだ。今回は、同窓会やダスキンとの協力で実施した。保護者の参加も昨年度より多かった。保護者に啓発した結果である。クリーンアップ大作戦で学習したことが、努力目標である「自らすすんで掃除をする生徒」の育成に繋げるよう指導の工夫をしていきたい。
- ・学校元気アップ地域本部と連携して、重点目標である、「生徒の道徳心、社会性をはぐくむ取り組みを進める」を、ボランティア活動（地域行事への参加、生徒会清掃）や夕陽丘カルチャー教室（日本文化体験学習）、クリーンアップ大作戦を実施した。地域の人材を活用し、生徒に社会への関心を持たせる取り組みをした。次年度も、教職員組織と地域本部との連携を強め、教育活動を充実させたい。

【様式 2 - 1】

(所属(市費)コード 592241)

大阪市立夕陽丘中学校 平成 27 年度 校長経営戦略予算【基本配付】配付申請書

年度目標	達成 状況
<p>【視点 学力の向上】</p> <p>①言語活動の取り組みを学校全体で取り入れ、平成 28 年度の全国学力・学習状況調査における「普段の授業では、生徒の間に話し合う活動をよく行っていると思いますか。」の項目について「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を 40%以上にする。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>【視点 道徳心・社会性の育成】</p> <p>②平成 28 年度の全国学力・学習状況調査における「人の気持ちがわかる人間になりたいと思いますか」の項目について「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を 95%以上にする。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>③平成 28 年度の全国学力・学習状況調査における「今住んでいる地域の行事に参加していますか」の項目について「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を 35%以上にする。(ガバナンス改革関連)</p> <p>【視点 健康・体力の保持増進と美化意識の啓発】</p> <p>④平成 27 年度末の校内アンケートにおける「清掃活動を積極的に取り組んでいる。」の項目について、「よくあてはまる（ややあてはまる）」と答える生徒の割合を 85%以上にする。 (カリキュラム改革関連)</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
<p>取組内容①【表現力の育成】</p> <p>I C Tを活用するなどして、授業で言語活動を活発に取り入れることを目標に授業内容を工夫し、研究授業・研究協議を実施することで、学校全体で表現力の育成に努める。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度中 1 回表現力の育成を目指した校内研修会を実施。 ・年度中 1 回 I C T活用研修を実施する。 	B
<p>取組内容②【道徳心の育成】</p> <p>ピアサポート、道徳副教材の積極的な活用、福祉体験をはじめとする年間行事の深化充実をはかる。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道徳副教材をはじめ、子どもの実態に即した教材を精選し、各学年、体験活動を学期に 1 回以上実施する。 ・学年、クラスでピアサポートの時間を年間 6 時間実施する。 	B

取組内容③【社会性の育成】 元気アップ事業との連携、生徒会ボランティア清掃への参加など地域とのかかわりを働きかける。	A
指標 <ul style="list-style-type: none"> ・生徒会主催で年に2回地域の清掃活動を行う。 ・保護者、地域の方と協力し校内の大掃除を年1回実施する。 	
取組内容④【美化環境整備】 毎日の清掃活動と定期的な大掃除及び油引き・地域や保護者の協力・参加型のクリーンアップ大作戦をさらに充実させ、美化意識の啓発を行う。	B
指標 <ul style="list-style-type: none"> ・美化委員を活性化させ、清掃点検を行うとともに給食当番係りの中心的な役割を担うよう指導する。地域清掃を2回実施する。 	
26年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
<ol style="list-style-type: none"> ① 各教科の日々の授業や研究授業において、表現力の育成を目標にした工夫された授業を行っていた。更なる「表現力の育成」に向けた、リテラシーの向上や意見討論の方法等の充実をめざした研究や検証を実施するまでには至っていない。 ② ピアサポート、道徳に関して取り組んできたが、今後、継続させて取り組むことが大切である。 ③ 美化委員会では、毎月の美化目標を設定し美化意識の向上に努め、美化点検も実施した。クリーンアップ大作戦は、地域・保護者の協力を得て、実施した。 	
27年度への改善点	
<ol style="list-style-type: none"> ① 更なる「表現力の育成」を目標にしたリテラシーの向上や意見討論の方法等の充実をめざした研究や検証の実施。 ② 道徳教材を使った35時間の実践を行う上で、これまでの内容の継続と新しい流れの導入をうまく考えていく必要がある。 ③ クリーンアップ大作戦の実施時期及び地域・保護者への協力方法について更なる工夫が必要と考える。 	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
取組内容① ICTを活用した授業については、各教科で実施が増えている。また、授業実践後には情報交換を行い、研修を深めることができた。	
取組内容② 道徳の読み物教材の授業を確保し行った。体験活動については積極的に取り組み、概ね成功している。 ピアサポートプログラムは、年間で1年生3時間・2年生6時間・3年生2時間を行った。	
取組内容③ 1・3学期に上汐公園にてボランティア清掃を行った。約80名参加した。	
取組内容④ 美化委員会では黒板拭きクリーナーの清掃や生徒常任委員会後に手洗い場の美化活動に努めた。本年度のクリーンアップ大作戦を10月中旬に地域・保護者・ダスキンと連携を図り、協力を得て実施できた。	
次年度（今後）への改善点	
<ul style="list-style-type: none"> ・今後導入される予定のICT機器のスムーズな運用と効果的な活用の研究を進めていく。 ・道徳の授業の充実が必要である。体験活動等に生徒は前向きに取り組んでいるが、一つ一つの行事をきっちり進めるには、行事が続きすぎている感がある。来年度に向け行事の精選や見直しをする必要がある。 ・クリーンアップ大作戦などの学校行事では教師の役割分担の細分化をはかりたい。また、実施時期の見直しもしたい。 	

申請受付日
指導部で記入 → /

【様式 11】

(所属(市費)コード 592241)

大阪市立夕陽丘中学校 平成 27 年度 校長経営戦略予算 **【基本配付】** 決算報告書

既配付額 560,000 円

◆取組内容

<p>取組内容①【表現力の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芸術鑑賞を通じて、表現力を育成するとともに、豊かな心を養う。 <p style="text-align: right;">(カリキュラム改革関連)</p>
<p>取組内容③【美化環境整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者及び地域の方々を巻き込んだ校内全員清掃であるクリーンアップ大作戦の実施し、美化意識を高めるとともに、地域社会との協力についての意識を高める。 ・保護者や地域の方への協力を呼びかける啓発活動を行う。 <p style="text-align: right;">(カリキュラム改革関連)</p>
()

◆費目別予算執行見込額(※円単位)

予算費目	8-1 報償金	11-1 消耗品費	11-4 印刷製本費	11-6 建物修繕料	12-1 通信運搬費	12-4 手数料
既配付額		113,852				
執行額		111,667				
不要額		2,185				

予算費目	12-7 損害保険料	13 委託料	14-1 使用料	14-2 船車賃借料	18-2 校用器具費	18-3 図書購入費
既配付額		446,148				
執行額		446,148				
不要額		0				